

第53回 ちょうしまちかどコンサート

開催しました！



8月19日に、銚子市保健福祉センターにて、スペイン在住のチェリスト、九十九太一さんのコンサートが行われました。九十九さんは7歳でチェロを始め、12歳でカタルーニャ州立バルセロナ高等音楽院に入学。2011年にバルセロナ・リセウ音楽大学チェロ科を卒業し、現在はバルセロナを拠点に世界的に活動されています。

日本の童謡3曲を演奏した後は、九十九さんオリジナルの曲を演奏されました。

コンサート前半のゆったりとした雰囲気から一転して、後半からは力強くリズムカルな演奏で会場を盛り上げました。

また、演奏間のトークでは、岡野元市長から教わった演奏姿勢を九十九さんの師匠へ教えたところ、大絶賛されたという興味深いエピソードを語ってくれました。

演奏姿勢について語っている様子です。

九十九さんはいつもベルトを使ったチェロの固定方法を用いて演奏をされていますが、ここに岡野元市長から教わったという姿勢を実践したところ、体が常に安定し、演奏が楽になったと話します。後に九十九さんの師匠までもが使うこととなった演奏姿勢法に、会場のお客さんも興味心身でした。



日時：平成28年8月19日（金）

午後7時開演

会場：銚子市健康福祉センター

すこやかなまなびの城

出演：「九十九太一」

曲目：「浜辺の歌」「夏の思い出」「ふるさと」

「唐獅子の舞」「てんしとカノーネ」

「雲竜の舞」

